

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 8 月 1 日

評価対象事業		評価者	生涯学習課長 飯田 拓也	
教育－52	生涯学習センター管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	生涯学習課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 令和5年(2023年)度実施した事業の概要

・生涯学習ネットワークの保守管理等、施設の維持管理、運営に必要な業務を行った。	
・施設の老朽化に伴う修繕や備品の更新等を行った。	
・生涯学習センターの管理・運営について指定管理者と毎月定例会を実施したほか、必要に応じて随時連絡調整を行った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	生涯学習センター管理運営事業	鎌倉生涯学習総合管理業務委託	利用者数(人)	303,870 / 473,000		473,000	64.24%
				226,780 / 241,715		240,343	
02	生涯学習センター維持修繕等事業	鎌倉生涯学習センター	進行管理(%)	100 / 100		100	100.0%
				25,831 / 4,648		47,969	
03	学校開放施設管理事業	学校開放施設管理業務委託	各施設ごとの利用者数(人)	16,115 / 24,000		24,000	67.15%
				5,396 / 7,448		6,607	
		財源内訳	国県支出金	0 / 0		0	
			地方債	20,000 / 8,100		8,000	
			その他特定財源	0 / 1		40,143	
			一般財源	238,007 / 245,710		246,776	
		事業費の合計(千円)		258,007 / 253,811		294,919	
		人件費(千円)			23,245	18,168	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	5.0	6.0	5.7	2.7	1.7	
会計年度任用職員	25.0	27.0	22.2	1.9	3.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	生涯学習センター管理運営事業	指定管理者と連携し、新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底を行いながら、年間を通じて利用可能とでき令和4年度と同等の利用者数であるが、目標達成には至らなかった。	市民等が学習活動を行う場を提供し、気軽に学習できる環境の形成に寄与している。	学習センターの利用時間枠について、より市民ニーズにあった時間枠に改善し、市民の生涯学習の機会増に寄与することが必要である。
02	生涯学習センター維持修繕等事業	安全性、快適性の向上を目指し、指定管理への管理・運営に併せて、指定管理者と協議の上、修繕等を行うことができた。	市民が学習活動を行う場の安全性や快適性を向上させるため重要な事業である。	生涯学習センターについては、50万円を超える修繕については、引き続き市で行うため、計画的に行いつつ、指定管理が行う維持修繕についても適切に行われているか監督をしていく必要がある。
03	学校開放施設管理事業	新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底を行いながら、年間を通じて利用可能とすることができたため利用者増となったが、目標達成には至らなかった。	市民等が学習活動を行う場を提供し、気軽に学習できる環境の形成に寄与している。	使用者の増加が見込まれ、予約の管理や施設修繕等、事務量の増加も見込まれる。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○・負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○・協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市シルバー人材センター

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☒ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
生涯学習センターの管理・運営に指定管理者制度を導入したことで、民間活力を活用しながら、より市民ニーズに合ったサービスを提供することができるようになった。今後も市と指定管理者が相互に協力し、学習センターを適正かつ円滑に管理できるように密な連携を図る必要がある。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	【生涯学習センター管理事業】利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
利用者数により、施設の利用状況を把握しより良い施設運営とするため。	目標値		473,000	473,000	473,000	473,000		
	実績値	122,726	212,234	307,305	303,870			
	達成率		44.9%	65.0%	64.2%			

指標(単位)	【生涯学習センター維持修繕事業】適切な進行管理						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
適切な進行管理に努めるため。	目標値		61,200	73,750	4,648	47,969		
	実績値	107,886.0	4,250	67,734	2,583,126			
	達成率		6.9%	91.8%	55575.0%			

指標(単位)	【学校開放施設管理事業】利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
利用者数により、施設の利用状況を把握しより良い施設運営とするため。	目標値		12,000	12,000	24,000	24,000		
	実績値	5,520	9,696	13,935	16,115			
	達成率		80.8%	116.1%	67.2%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--